

博物館だより



No.73

平成24年5月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

修理事業完了記念

ぶせんこくふんじたいぞうかいまんだらす

「豊前国分寺胎蔵界曼荼羅図」

2日間限定！特別展示

九州国立博物館内の「国宝修理装潢師連盟」によって行われていた豊前国分寺所蔵「胎蔵界曼荼羅図」(みやこ町指定文化財)の修理事業が本年3月に完了しました。そのことを記念して下記のとおり特別展示を行います。作品保護のため、2日限定の展示です。ぜひ、ご来館ください。

期間 平成24年5月12日(土)・13日(日) **場所** みやこ町歴史民俗博物館展示室

開館時間 9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)

観覧料 常設展示の観覧料でご覧いただけます。大人200円・小中高生100円

◎豊前国分寺胎蔵界曼荼羅図の詳細については裏面参照

歴史を学ぼひー・文化にふれよー!

歴史講座受講生募集！

博物館では歴史講座の受講生を募集しています。

歴史講座には「漢詩文講座」「古典かな講座」「古文書講座」「金曜古文書講座」「みやこ学講座」の各コースがあります。なお講座では毎回資料代実費として200円が必要となります。また、継続して受講を希望される方の申込についても不要です。受講希望の方はお気軽に博物館までお問い合わせください。

午前9時30分～

○講師 当館学芸員 川本英紀
○内容 江戸時代の人々が「くずし字」で書いた手紙や日記などを解説します。特にみやこ町に関する古文書を歴史的な背景についての解説を交えながら読み進めます。

○実施日 每月第2土曜日
午前10時00分～

*講座内容紹介

【漢詩文講座】

○講師 宮原加代子先生
○内容 緒方清溪をはじめ、主に

九州の漢詩人の詩を鑑賞し、その旧蹟をたどります。また、漢詩文の基礎、佳句の手習いも行いますので用紙・筆記用具を持参ください。初心者の方も大歓迎です。

○実施日 每月第1土曜日
午前9時30分～

【みやこ学講座】

○講師 当館学芸員 辛嶋真治

○内容 博物館に収蔵される古文書を主なテキストとして江戸時代後期以降の豊前地域をめぐる行政・生活・文化に関わるさまざまなお話を読み解きます。

○実施日 每月第4金曜日
午前10時00分～

○講師 木村達美

○内容 郷土の歴史について講義ばかりでなく、実際に現地(遺跡や博物館など)を見学したり、ゆかりの実物資料に触れたりしながら、体験的に学習します。

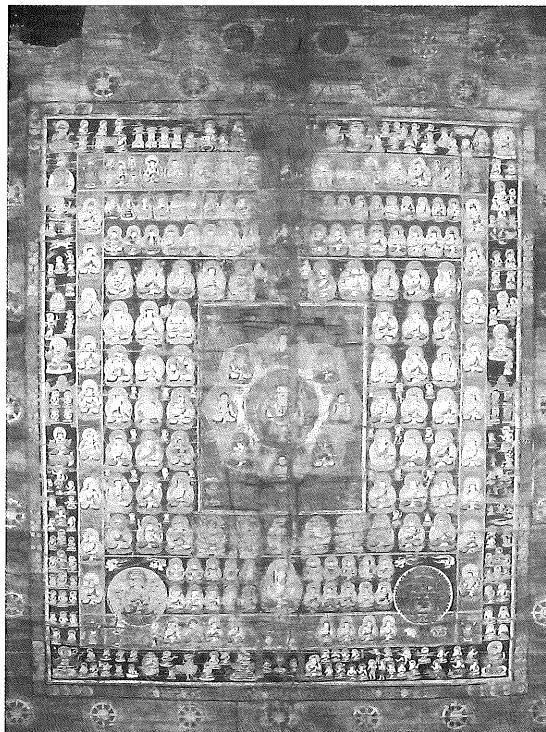
○実施日 每月第4土曜日
あるいは筆ペンを用意下さい。
見学会はその都度連絡します。

座学は午前10時00分～

豊前国分寺藏 胎藏界曼荼羅図

たいぞうかいまんだらづ

上毛郡塔田村(現豊前市)の豊前
国分寺領に関するものがあります。



▲豊前国分寺藏 胎藏界曼荼羅図(修理前)
縦237.5cm×横161.7cm(本紙)絹本着装

は、ほぼ完成していたものと考えられています。国分寺建立の詔には、「必ず好き處を擇びて、實に久しく長かるべし(国分寺は、必ず

國分尼寺とセットで国ごとに建立されました。豊前国の国分寺は、現みやこ町国地区が建立地に選ばれ、「続日本紀」(八世紀末に編纂の史書)の記述から、遅くとも天平勝宝八年(七五六)までに

関するものは多くありませんが、現大分県豊後高田市にある長安寺所蔵「太郎天二童子立像」の大治五年(一二三〇)胎内銘(木像の空洞部分に書かれた文字)に、豊前国分寺の僧名が記されています。また、南北朝時代の暦応三年(一二四〇)の史料(西郷文書)に、

武天皇の勅願、いわゆる「国分寺建立の詔」により建てられた寺院で、奈良東大寺を總国分寺とし、國分尼寺とセットで国ごとに建立されました。豊前国の国分寺は、

に所在)高台の、まさしく「好き処」に建立されたのです。

大友の兵火

伝説によると、豊前国分寺はその後も多くの末寺を抱え、隆盛を

さきわめたましたが、戦国時代の天正年間(一五七二~一五九二)、豊後の戦国大名・大友宗麟によって焼

かれたといいます。ただ、この時全てが灰になつたのではなく、いくつかの建造物や寺物は焼失を免れました。が、その中の一つに「胎藏界曼荼羅」があったといいます。豊前地方には、大友宗麟に焼かれたという「大友兵火伝説」を持つ寺社は多いので、豊前国分寺のそれも慎重に考へる必要はあります。

しかし、大友兵火は伝説にしても、同寺が古くから所蔵してきた「胎藏界曼荼羅」が、時代の波を乗り越え、近世近代を経て現在にまで伝えられていることは紛れのない事実です。

曼荼羅は、仏の悟りの世界を象徴的に図化したもので、いくつもの種類がありますが、胎藏界曼荼羅は「金剛界曼荼羅」とセツトで、「両界曼荼羅」と呼ばれます。たゞ、豊前国分寺の場合、金剛界曼荼羅は、大友の兵火かどうかは別にして、遅くとも江戸時代の初期には失われていたようです。寛永



▲胎藏界曼荼羅図を収納する木箱
寛永20年(1643)の銘がある

状況下で描かれたためと推察されること。
②描写の丹念さや素材製作の高い技術から、畿内(現大阪府・奈良県と京都府・兵庫県の一部)で製作されたと考えられること。
③製作年代は十四世紀後半ごろ(南北朝時代)と考えられ、胎藏界曼荼羅では県内最古であり、また唯一の天台系曼荼羅であること。
この豊前国分寺胎藏界曼荼羅は、平成二十一年十月に、町指定文化財となりました。また、ご住職の尽力により、平成二十二年五月からは、九州国立博物館内の国宝修理装潢師連盟により、およそ二年の歳月をかけて修理が行われました。来る五月十三日には、当館にて、美しさを取り戻した胎藏界曼荼羅のお披露目が行われます。ぜひ、ご来館ください。